

<b>平成17年度岩手県工業技術研究推進会議 議 事 録</b>	(実施日) 平成17年10月20日(木)
--------------------------------------	-------------------------

<b>(テーマ名)</b>	<b>コールドスプレー法による高品位金型再生技術の開発(事前評価)</b>
---------------	---------------------------------------

委員	質 問・意 見	回 答
<b>G委員</b>	現状と比較して、なぜコールドスプレーが必要なのか？	【発表者】 前処理としてのプラストレスと高温にさらしたくない金型へ適用するためである。また、金型表面の酸化もない。
	上記のことが問題にならない金型でも現状は(ホットスプレーが)適用されていないようだが、なぜか？	【発表者】 溶射材はアンカー効果により表面に密着しているため繰り返し熱疲労等のストレスに弱いと考えられるためである。
	前処理なし(プラストレス)で補修できるのか密着力の点で少し不安を感じる。開発されたら是非我が社でも採用したいが、ダイカスト金型へも応用できるか？	【発表者】 金型の種類によって適用のしやすさ等は異なると考えられる。金型の使用環境等を考慮していきたい。
<b>A委員</b>	溶射材や溶射条件をしっかりと設計しないと難しいと思われるが、どのように考えているか？	【発表者】 材料設計と溶射条件の両方とも大事と考えている。溶射実験の結果を材料設計へフィードバックしながら研究を進める予定である。
	技術のポイントやオリジナリティをもっと強調してもよいと思う。	【発表者】 ナノ粉末等を出発原料としてコーティングを行う点にもオリジナリティーがあると考えている。
<b>G委員</b>	ダイカスト金型も補修をしながら使っている。開発された技術を使いたいのので、是非本研究に取り組んでいただき、成果を上げて欲しい。	【発表者】 金型の使用状態の調査等で協力をお願いすることがあると思うので、その時はよろしくお願ひしたい。
<b>F委員</b>	今はFSの段階のようだが、H18年度当初から研究に取り組めるように準備して欲しい。ところで、予算措置はどのような状況か？	【発表者】 予算は要望中で、確定はしていない。